

平成29年度 第2回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	平成29年11月2日（木） 14:00～15:00
場所	豊橋市中央図書館 会議室
委員	出席定数12名 うち10名出席
事務局	豊橋市教育委員会教育部図書館9名 都市計画部まちなか図書館整備推進室2名
議事	<p>議題</p> <p>(1) 平成28年度決算、図書購入・蔵書の状況、サービス指標について</p> <p>(2) 平成30年度予算について</p> <p>(3) その他</p> <p style="padding-left: 2em;">(ア) 校区市民館等図書室に関するアンケート集計結果</p> <p style="padding-left: 2em;">(イ) 図書館利用者アンケート集計結果</p> <p style="padding-left: 2em;">(ウ) 図書館の当面の行事等について</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度決算について ・平成28年度サービス指標、購入・蔵書の状況 ・平成30年度予算について ・校区市民館アンケート集計結果 ・図書館利用者アンケート集計結果

<議事概要>

(1) 平成28年度決算、図書購入・蔵書の状況、サービス指標について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

蔵書が100万冊を超えたと思ったが、閉架と開架の割合はどうなっているか。

(事務局)

開架率は43パーセントで43万冊。閉架は57万冊。

【委員】

障がい者サービスの充実ということで、新しい取り組みを始めたようだが、利用率・登録率はどうなっているか。

(事務局)

平成28年度は、問い合わせはいただいたが実績はなかった。今年度になって実際に借りられる方が申し込みをされている状況。

この障がい者サービスは、視覚障害者を中心にしたサービスで、豊橋には県の明生会館と

いう盲人のための展示やデイジーの本を貸出する図書館があり、視覚障がい者の方はそちらを利用されていたため、図書館としてのPRがまだまだ弱いというところもあるが、まだニーズが取り込めていないのかなというところ。

【委員】

片身のスズキを500冊つくって、300冊売れたということだが、残りはまだあるのか。

（事務局）

まだ残っている。これは全部売れるまで販売を続けたいと思っている。

（2）平成30年度予算について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

羽田八幡宮のものは全てデータベース化はしてあるが、オープンにしているのはその一部だったと思うが、その拡充は今回行う予定なのか。

（事務局）

羽田八幡宮の本は全てPDF化されているが、ネットの容量の関係上200冊しか公開していない。公開はこのまま継続して200冊にしていこうと考えているが、将来的には統合できればいいと思うが、来年度の予算の段階では羽田八幡宮文庫は併せる考えはない。

【委員】

容量というと、この一番上のものは容量には関係しないのか。

（事務局）

こちらは、アダラックという別組織のシステムを利用して公開していく形になるので、システムが違うということです。

羽田八幡宮文庫は自前のサーバの中にデータがあるが、これは別なので、ということ。

【委員】

「豊橋の歴史」が96年に出され、そのあとのことをまとめることは市では考えていないのか。知立市では25年に一度市史を作り直している。そのぐらいの期間で作り直さないと、世の中は変わっていくので、調べ学習をしたときに、調べるものが過去のものになってしまうと利用する意味がなくなってしまうのではないかという気がする。そのため、情報を更新するための予算の付け方を検討してもらいたい。

(事務局)

歴史系のことは美術博物館が担当になるが、現在でも市史編纂委員会はあるが、現代編をつくるとはまだ聞いていないが、最近では豊橋100年史など補足するような本が出ているので、それが代わりになるのでは。それから、20年前の本では豊橋の歴史自体が変わっている部分があるため、それに関しては、権利関係が複雑だが、美術博物館と相談して、可能であれば修正をしていき、なるべく最新の情報が見られるようなものにしたいと考えている。

(3) その他

(ア) 校区市民館等図書室に関するアンケート集計結果

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

図書の交換は一律なのか。

(事務局)

校区市民館は月に一回のところと4か月に一回のところとある。委託の関係で月に一回全て行くのは難しかったため、平成26年度に検討し、現在の形になっている。

【委員】

年に一回とか、利用がないからやめるとかそういったことはないのか。

(事務局)

そういったことはない。4か月に一回は必ず行っている。

【委員】

今回、地区市民館にはアンケートを行っていないのか。

(事務局)

今回は行っていない。

(事務局)

地区市民館は一定規模の図書コーナーを持っているため、そういった意味で今回は校区市民館のみアンケートを行った。特に、向山・汐田・牟呂など、図書館に近い校区市民館は非常に利用が少ないことが統計でも顕著に出ているので、そういったところは一定の見直しを考えていってもよいのではないかと考えている。地域ごと、校区ごとにいろいろな活用の方法があるのではないかとと思うので、実態に合った方法を考えていきたいと思っている。

【委員】

学校で、帰りに市民館に寄ってはいけないということはまだ言っているのか。

【委員】

自分がつつじか丘小に勤めていたときに、蔵書が十分ではなく、調べ学習のための蔵書をまず整えていかなければならなかったため、読み物が追い付かないということで、市民館の本を読むために、帰りに低学年の子が寄っていく、ということがあったし、ほかのときにも使っていきたいという話はあったが、立地条件が学校によって違うので、学校から校区市民館が離れた場所だと、その子たちだけ連れていくのは難しい実情があったと思うし、安全面を考慮し、どこの学校も学年下校を行っているため、市民館に寄っていくのは時間的に難しい。さまざまな実情があり、下校時に市民館へ寄るのは難しくなってしまったため、復活させるのは難しい現状にある。

先日、校区の団体長会議の図書室の利用の話の中で、子どもたちの校区市民館の図書室の利用者カードの登録が子ども20人に対し、大人は1人だったということがあり、利用者カードを作成してまで本を借りていく人が少なく、主事さんが利用を促していた。市民館は会合など、さまざまな用途で使われているので、そういう人たちや子どもたちにも気軽に利用してもらえるように宣伝するのもいいのでは、という話だった。

また、本の入れ替えについては、入れ替えが少ないと興味がないと思われ、足がよけい遠のいてしまうので、ポップをつくるなど、目に留まる工夫を行い、別の用事で来た時に気づいてもらえるようなことをするのもよいのではないかと思う。

(イ) 図書館利用者アンケート集計結果

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

田原図書館との関係で、たまたまかもしれないが、大清水のアンケートで市内270人に対し、市外は4人しかいない。田原の利用者のうち三分の一は豊橋市民だという話で、新しい図書館を大清水につくって豊橋の利用者を取り戻すということだったが、実際、田原から豊橋の利用者を取り戻すことはできたのか。

(事務局)

田原図書館の職員から、大清水図書館が開館したことによりものすごく貸出冊数が減ったと聞いている。そのため、田原図書館へ行っていた豊橋市民が行かなくなったという傾向があるのではと感じている。

(事務局)

田原へ行く豊橋市民は減ったが、なかなか田原市民を呼び込むまでにはまだ至っていないのかなと思う。

(事務局)

ちなみに、校区別の利用状況では、必ずしもこれが大清水ということではないと思うが、平成28年度の実績としては、田原市民の登録者数が153人、延べ利用者数が700人。

【委員】

田原にはないが大清水に行けばある、というような特色のあるものがあると良いと思う。

(事務局)

田原の人に聞いたが、大清水は夜9時までやっているの、豊橋に来るついでに大清水に寄って、子どもを降ろして豊橋で用事を済ませて、また子どもを乗せて帰る、という利用のスタイルが増えているということだった。大清水図書館が開館したときに豊橋市民で貸出券をつくる人がとても多かったので、田原でしか本を借りていなかった方が、豊橋の貸出券をつくって、豊橋に戻って来たというかんじがしている。

【委員】

以前にも聞いたかもしれないが、利用者のモラルの向上ということで、気になるのが、今年報道もされた紛失とか破損は豊橋市ではどの程度の被害があったのか。

(事務局)

まず、校区史・学校史の切り取りが年度当初のころに話題になったと思うが、切り取りに関しては当館では確認したところなかった。一時、閉架ということで申請のあったときのみお見せする形をとっていたが、世の中が落ち着いてきたということで、また開架ということで閲覧をしている。

(事務局)

雑誌に関しては切り取り被害がある。今、そういった行為の多い一部の雑誌については、開架に出しておかずに引き換えのものをカウンターに持ってくると渡す、という扱いをしているものもある。

新聞でも、無料券やギャンブル系の予想欄などは切り取られることがある。

【委員】

学校の中でもときどきあって、こっそり返して、その本を借りた次の人が発見したときにショックを受ける。人為的に傷つけられた本はできるだけほかの人の目につかないうちに発見して直すということを気を付けているが、残念なことなのでなんとかしていきたいと考えている。

(事務局)

図書館でも、返却のあった本は一通りチェックして配架している。

(事務局)

本によってはかなり書き込みがあるものもある。書き込み等に気が付いた時はメモ等をはさんでおいていただけるとありがたい。どうしても、落丁などは確認するが、書き込みまではチェックができないので。

(ウ) 図書館の当面の行事等について

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

【委員】

図書館フェスタは、このチラシからはわからないのだが、11月25日は何かイベントがあるのか。

(事務局)

細かな日程とスケジュールはまた別途出していく。

【委員】

メインは12月2日と3日になるのか。

(事務局)

そうです。